

やっさ祭り ゴミへらし隊「エコレンジャー」委員会 == 実 施 報 告 ==

文責：村上純子

《実施日時 実施人数》

8月12日(金) 9:00~22:30 34人+エコクラブ

8月13日(土) 9:00~22:30 46人

8月14日(日) 9:00~22:30 17人

スタッフ含め、のべ 99人(内 中高大学生計 52人)

| | |
|------|--|
| 延べ人出 | 305,000人 【12日 60,000人、13日 150,000、14日 95,000人】 |
|------|--|

1. 報告—ゴミ分別—

《分別実施項目(12分別)》

★印は花火会場

- | | | |
|--------------|---|--|
| ①! アルミ缶 | } | ★ 一緒に回 |
| ②! スチール缶 | | |
| ③! ペットボトル | | ★ (昨年はもやすゴミとして回収、今年は資源として単回収) |
| ④! びん | | ★ |
| ⑤! きれいなトレイ | | |
| ⑥! 汚れたトレイ | | |
| ⑦! もやさないゴミ | | |
| ⑧! もやすゴミ | | ★ |
| ⑨! わりばし | } | ★ 一緒に回収(祭り終了後⑨と⑩を分別・リサイクル) (昨年はもやすゴミとしての回収だった) |
| ⑩! 竹串・竹はし | | |
| ⑪! カキ氷 | | |
| ⑫! 生ビールプラカップ | | |

以上 2004 年度の分別実施項目の、

※⑩に、新たに、ネットワーク竹原から無償提供の竹はしを追加(詳細は、別記)

※ リサイクルされるもの

- ① チューリップ作業所にて洗浄後、朝日アルミ産業(株)(総社市)へ
- ② チューリップ作業所にて洗浄後、相互物産(株)(福山市)へ
- ③ きぼう作業所にて洗浄後、(有)すずか(三原市)へ
- ④ (株)森剛で回収
- ⑤ エコレンジャーで洗浄後、(株)エフピコ(福山市)へ
- ⑨ エコレンジャーで洗浄後、**呉王子紙業(株)**へ
- ⑩ 昨年は、「燃やすゴミ」にしていたが、NPO 法人「ネットワーク竹原」へ
※チップにして、肥料にする
- ⑪ 昨年は、かさばる為、分別回収するものの、結局、「燃やすゴミ」にしていたが、**EP 溶剤に浸けて溶かし(ゲル状)**、道原運送へ(久井町)
※再生プラントを通して液状のスチロール樹脂となり、重油や灯油の代替燃料として、プラスチック製品や還元剤、塗装剤としても使用できる

《分別回収したゴミの量》

- ・ 三原駅前分別ボックス

単位：袋（60リッ

トル）

| | 12（金） | 13（土） | 14（日） | 2005年合計 | 2004年合計 |
|--------|--------|-------|-------|----------|----------|
| アルミ缶 | 16 | 25 | 8 | 49 | 33+6 花火 |
| スチール缶 | 1 +1/2 | 2 | 1 | 4+1/2 | 3 |
| ペットボトル | 16+1/3 | 24 | 9 | 49+1/3 | 35 |
| かき氷 | *** | *** | *** | *** | 15 |
| ビールカップ | 2 | ? | ? | 2+α | 2 + 1/3 |
| 発泡トレイ | 5 | ? | 3 | 8+α | 12 |
| びん | 2+3/4 | 1/2 | 1+3/4 | 5 | 2+1/3 |
| わりばし | | | | 約 1200 膳 | 約 1000 膳 |
| 竹串、竹はし | | | | 2 | *** |

※!三原市からご提供いただいた60リットルの袋200枚が足りなくなり、途中から、45リットルの市販の袋を購入使用した。

- ・ 花火会場（ボランティア7人で対応）

- ①② 缶（アルミ、スチール混合）・・・7+1/2 袋
- ③ ペットボトル・・・2+3/4 袋（キャップラベルなし +1 袋）
- ④ びん・・・1/5 袋 割り箸、竹串 1/5 袋
- ⑧ もやすゴミ・・・15 袋

※ プラスチック製大型カップ(かさばる為、別回収にした)・・・1/4 袋

《昨年との変更点》

| 変更後（今年度概要） | 変更前（昨年度概要） | 理由等 |
|---|---|---|
| 分別ボックス近くにパラソル設置。 | パラソルなし。 | ボランティアの紫外線、熱中症予防のため。 |
| かき氷カップは、トレイへの再生ができない為、道原運送（久井町）からの提案で、EP溶剤に浸けて溶解させ、リサイクルに回した。 | かき氷カップは、かさばる為、分別ボックス外で、それぞれ別に重ねて回収し、最終的にもやすゴミに。 | 再生プラントを通して液状のスチロール樹脂となり、重油や灯油の代替燃料として、プラスチック製品や還元剤、塗装剤として使用できるため。 |
| トレイ、わりばしを祭り期間中に洗浄。 | トレイ、わりばしを、祭り終了後持ち帰り、1人のボランティアが洗浄。 | 複数のボランティアが取り組むことによって、環境に対する意識が広まる。 |
| 分別項目の竹串に、竹箸も、追加 | 竹箸がなかった。 | わりばし（輸入材）使用を減らすため、竹箸を1000膳用意した為。 |
| 花火会場は分別ボックス内で、「もやすゴミ」「竹串、わりばし」「特殊なカップ(かさばる為)」を回収、手持ちの袋で、「ペットボトル(リサイ | 分別ボックスは「もやすゴミ」のみ、分別回収は、「缶」「びん」のみだった。 | |

| | | |
|---|--------------|-------------------------|
| <p>クル)」「缶」「びん」を回収、後日、竹箸とわりばしに分別、わりばしは、洗浄した。</p> | | |
| <p>祭り終了後に天満屋前のゴミ箱をきれいにし、「いつも、きれいに、ゴミ箱をご利用いただきありがとうございます。三原の街をよりきれいにする為にゴミの持ち帰りに、ご協力よろしくお願い致します」の張り紙をした。</p> | <p>対策なし。</p> | <p>昨年、翌朝、ゴミがあふれていた。</p> |



←発砲スチロールのリサイクル
中央が溶かす溶剤の原液、右は溶かした発砲スチロールが、沈殿しているもの。



←かき氷の容器を溶剤の中に入れると、みるうちに溶けていきます。

《検討事項》

(1) 竹串、フランクフルトの棒の回収は？

実施結果 フランクフルトの棒、わりばし→木材として、製紙会社へ
竹串、竹箸→竹のチップにして、肥料に使用
分別が、徹底できなかった

理由 形が似ているので、混雑時に、判断しにくい

《評価》

【JR 三原駅前周辺】

- ①! 昨年同様、分別について、とても協力的で、よい反応だった。また、分別の分かりにくさは、今年も、ボランティアの学生たちからも、声が出た。排出ゴミの量を見ても、昨年度より、缶・ペットの飲料が増えている。来場者数の増加によるものか、分別が周知徹底されてきたためかは特定できない。
- ②! かき氷のカップは、発砲スチロール容器の使用自体を控えていきたいのではあるが、昨年、燃えるゴミにしていたのを、リサイクルできたのは、よかった。また、事前に配布したエコレンジャー委員会からの提案によるものか特定はできないが、昨年度、発砲スチロール製のカップを利用していた出店者が、紙製カップに変更していたケースもあった。
- ③! トレイ、わりばしを、祭り期間中に洗浄し、集積場の近くに広げて、乾燥させ「製紙会社へ送って、紙の原料にします」と表示したので、洗浄したボランティアの方や、祭り参加者、出店者の方など、何人か、立ち止まって、「知らなかった」「いいことだ」と言ってくれた。来年は、もっと、アピールできる方法を考えたい。



- ㊤! 既存のゴミ箱へ「分別ボックスをご利用ください」の張り紙をして、分別ボックスの方向を「→」で表示したり、「分別ボックスは、あちら」の表示をしたのでわかりやすかったのではないかな。

【花火会場】

- ・今年も、来場者は、分別に協力的であった。
- ・花火が始まる前には、キャップ、ラベルをはずすことも、可能だった。



《これからの課題》

【JR 三原駅前周辺】

- ㊤! 分別ボックスを増やすかどうか(駐車場側のゴミ箱周辺にゴミがたまる)
 →ゴミの持ち帰り推進のためには、数を増やさないほうがいい
 →頻繁に、ゴミの拾いをする必要あり
- ㊤! 缶を灰皿代わりにしているのが困る
- ㊤! 食べ残しや、飲み残しが多い
- ㊤! 使われていないわりばし、竹箸が捨ててあった
- ㊤! うきしろロビー展示スペースの横に灰皿用に缶が2缶置いてあり、そこに、置き去りゴミが何度もあった→「これは、灰皿です。ゴミは、分別ボックスをご利用ください」と張り紙をしたり、灰皿用缶をひとつにして、対応したが、灰皿用缶があるため、結局ゴミが出てしまう。
 来年度は、灰皿のみのスタンド型にしてみても、どうか?
- ㊤! 分別ボックスの上部に「キャップ、ラベル」をはずしてください。など、分別の仕方を書いた看板か横断幕があれば、遠くからも、分かりやすい。
 (ゴミ箱前の内容(トレーを白と透明で分別するとか)をもっとくわしく書いた方がよい?)
- ㊤! **発泡トレー**の汚れふき取り用布が足りなかった。
 →分別のところで拭き取りをされるお客さんは少なく、その分だけなら足りていたが、今回、「汚れたトレー」として回収したのも洗ったので、その時に使用した。
油を含む汚れをそのまま水で流すこと、また油分の洗い残りを避けるため、洗うなら、汚れを拭き取る必要がある。 来年、トレーを洗うかどうか検討する

- ㊦!最後のゴミの数の把握が、担当が変わったり、出店者の置き去りゴミに対応していたなどの件で、できなかった。



▲駐車場側のゴミ箱



▲壊れた灰皿部分にゴミが入れられる



▲補修するも、すぐ外される

れる

《引き継ぎ事項》

【JR 三原駅前周辺】

- ㊦!分別ボックス内にビニール袋を取り付ける際、表示が隠れないように、「三原市」の文字の向きに注意する
- ㊦!ペットボトルの回収について、可能かどうか作業所の方に確認する
- ㊦!噴水側は、照明がなく夜暗かったので、照明をお願いします
- ㊦!ゴミ袋が 200 枚では足りなかった
- ㊦!スタッフ集合を 9 時にしていたが、駐車場が 9 時からなので、来年度、初日 9 時 30 分、翌日以降 10 時集合に変更する。
- ㊦!午前中は、来客者が少ないので、スタッフ以外のボランティアの集合時間を 13 時以降にしては、どうか？

【花火会場】

- ㊦!手を洗う場所がないため、軍手を使用、おしぼりや、手洗い用の水を用意する。
(その場に水はないので、ペットボトルなどに水を入れ用意する)
- ㊦!ゴミ持ちかえりのお願いと、分別回収の大きな表示を作る。のぼりもあったほうがいい。
- ㊦!**事務局への依頼事項は、文書に明記するとともに、確認も忘れず行う。**開催数日前に、分別ボックス、残飯用ポリバケツ 2 個、ザル、手洗い用バケツを持ってきていただくことと、持ち帰りをお願いしておく。(書類だけでは、徹底できない)
- ㊦!ペットボトル、缶を作業所の方に引き渡すまで、責任者は、残しておく。
- ㊦!花火会場用は、容量の大きいゴミ袋を用意しては、どうか？

2. 報告ーゴミひろいー

《実施内容》

ゴミひろいスタッフ募集、ゴミひろい実施

《実施場所》

祭り会場(JR 三原駅前)

《検討事項》

(1) ボランティアの事前学習を兼ねて、事前 PR をしたらどうか？

実施結果 昨年、台風で中止になり、予備日を設けることにしていたが、今年度も、

予備日をとっておらず、雨のため、説明会のみ実施した。
その分、時間は、多く取れたので、ボランティアの環境意識向上には、よかった。

《評価》

エコレンジャー独自の、キャップを作ったので、ボランティアの意識向上、来場者へのアピールができた。

学生ボランティアが多く、踊りが始まるまでは、駅構内以外の通りのゴミ拾いをする事ができ、祭り参加者にもゴミを拾ってくださる方がいた。

《これからの課題》

- ①! ゴミ拾いの範囲を増やすかどうか。
- ①! たばこのポイ捨てが多かった。ポイ捨て禁止の呼びかけも、必要。
→観光地美化キャンペーンの一環として配布した携帯灰皿が好評であった。
来年も来場者への提供ができないか。
- ①! 企業が配布したうちわや未使用のポケットティッシュがかなり捨ててあった。
- ①! 初日、午前中に駅清掃担当の方から、駅構内に「出店者のものと思われるゴミが大量にあるので、早く、分別ボックスを出してほしいと、苦情が来た→出店者へ「ゴミの管理をお願いし、構内もゴミ拾いコースに入れた」
- ①! 集積場と、集積場のある通路の角に、出店者の置き去りゴミがあった
→出店者へごみの持ち帰りを改めてお願いするとともに、間違っても置かないよう、ロープを張り、常時、スタッフを置いた
→「ゴミゼロ」に向けての取り組みとして、「ゴミの持ち帰り」を呼び掛けているが、実際問題、大阪など、遠方からの出店者に、ゴミ持ち帰りを呼び掛けるのも、気の毒な気がする。ゴミ袋を有料にする。ゴミ処理費をいただくなどの対応をしては、どうか？
- ①! 駅備え付けのゴミ箱についている灰皿が、壊れていて、そこに、ゴミがあふれている
- ①! 駐輪場内へのゴミが多いので、ゴミ持ち帰りや、分別ボックスへの表示をしては、どうか？
- ①! 天満屋前と、駐車場側のゴミ箱前にゴミが多い
- ①! 分別ボックス内の表示や、集積場の表示を事前に作成しては、どうか？（当日、人員の節約のため）（ラミネート加工しては？）
- ①! 三原市公衆衛生推進協議会の協力が得られないか？（法被、のぼり、人員）
- ①! 飲みかけの飲料と財布の入ったビニール袋を置いておいたら、それが無くなったと苦情あり
→幸いにも、財布を含めその袋は見つかったが、ゴミ袋の中身は、確認して、捨てる配慮が必要か？

■ ボランティア

- ①! 第三中学校、三原高校から、ボランティアとして参加して下さった。
- ①! 市中心部の中学、高校に、ボランティア募集のチラシとポスターを持参した。
- ①! より多くの学校からの参加を得るには、学校長あてのお願い文を添えるなど、工夫が必要。

【花火会場】

- ①! マンションの階段への置き去りゴミが多量にあり、翌朝清掃中、苦情があった

→入れないような対策が必要

㊦! 休憩所へ置き去りゴミが大量にあった

→「ゴミは、持ち帰りましょう」「分別ボックスは、あちら」などの表示が必要



▲出店者の置き去りゴミ



▲休憩所への置き去りゴミ

≪引継ぎ事項≫

㊦! ゴミ箱の表示がなかったり、破れていた時は、即、補修する

㊦! エコレンジャー委員会 お茶の量 3日間で56リットル用意(1日目はあまった)

3. 報告ーリユース・マイはしー

≪実施内容≫

| | レンタル (準備)総数 | 利用(販売)数 | | | | |
|-----------|----------------|---------|-------|-------|----------|---------|
| | | 12(金) | 13(土) | 14(日) | 2005 合計 | 2004 合計 |
| 生ビールプラカップ | 500個 | 9 | 10 | 16 | 35 | 80 |
| リユースはし | 500膳 | 3 | 4 | 4(2) | 11 | 13 |
| マイはし(販売) | 96+45セット | | | | 27+44=71 | 55 |
| エコマネー | @50X120枚 | 2 | 18+1 | 6 | 27 | *** |

※生ビールプラカップは、500ml 対応、今年度は、かき氷カップとしても、利用

≪実施場所≫

リユースカップ、リユースはしの取り扱い・・・「エコレンジャー本部」

マイはしの販売・・・・・・・・・・・・・・・・・・「エコレンジャー本部」「グッズ販売テント」

≪評価≫

事前に、駅前にのぼりを立てたり、サンシープラザ展示スペースへの「エコレンジャー紹介」、ステージの合間での「エコレンジャーPR」は、よかった。

エコレンジャー本部の横断幕と、赤いテントは、去年に比べ目だってよかったが、リユースカップ、リユースはしの利用を考えると、屋台村の並びにあるほうがよい。

昨年度利用してくださった「人にやさしい祭り委員会」「郵便局」への声かけをしなかったのが、実質減少ということになったが、個人の利用者は増え、エコレンジャー登録には、市長さんを初め56人登録をしていただくことができた。

エコマネーのPR効果も出ていて、「エコレンジャーとじゃんけんしたい」と本部に来てくださった方も、おられた。

エコレンジャー委員会では、以下を実施し、ゴミ削減に努めた。

- ①ボランティアの飲料として、麦茶をポットに入れ、マイカップで飲む、
- ② " " 100本のリユースびん飲料を利用。
- ③昼食に、マイはし、マイ皿、マイスプーンを利用。
- ④かき氷をリユースカップやマイカップを利用。



▲「マイ皿」「マイスプーン」持参
ました♪



▲「リユースカップ」へかき氷を入れてもらって



▲ステージでアピールするエコレンジャー▲
五藤市長



▲「エコレンジャー登録第1号」

《これからの課題》

- ① リユースカップ、はし、利用促進
 - ㊦!暑かったので、エコレンジャーに扮装する時間が短く、アピールできなかった。
来年度は、エコレンジャーTシャツで、アピールしてはどうか?
 - ㊦!エコレンジャーのステージを本格的に、開催してはどうか?(事前に声、BGMを録音しておく)
 - ㊦!リユースカップを持ち歩いて、PRしたらどうか?
 - ㊦!リユース容器貸し出し場所(エコレンジャー本部)は、場所等も含め、もっと目立つようなアピール方法を考える必要あり。
→屋台村の並びにできないか?
→ゴミ分別ボックスの隣にして、反対隣が、ビールの取扱店だとリユース容器を利用してもらいやすいのではないか。
 - ㊦!リユース容器の広告を三原の企業にしてもらい、やっさ祭りオリジナルのリユースカップを作ることも有効と思われる。他イベントへ貸し出しをすれば、やっさ祭り、市内企業のPRにもなる。
 - ㊦!一般の人が知らない、PRをもっとする。
 - ㊦!かき氷カップ対応のリユース容器が新しくできたので、来年度、利用を検討する。
 - ㊦!「デポジット制」をなくしては、どうか?
 - ㊦!リユースカップを持ち歩くのは、不便→ホルダーの作成か、返却場所を増やす
- ②設備、備品について

- ㊦! 夜「ゴミへらし隊エコレンジャー」の横断幕にも、照明があたるようにしてほしい。
- ㊦! 発電機の音が大きい
- ㊦! 看板が事務局に依頼した大きさと違っていた、直接、委員会に交渉した方がよい
- ㊦! エコマネーが小さすぎて、扱いにくかった。

③事務局へのお願い

- ㊦! 屋台村説明会に参加できなかった
→日時の確認のためにも、説明会の開催のちらしをいただくようにする



▲2004 エコレンジャー本部



▲2005 エコレンジャー本部

《広島県観光地美化キャンペーン》

今年度は、エコレンジャーの取り組みを「広島県観光地美化キャンペーン」として申請、実施し、その一環として携帯灰皿の配布を行いました。



オープニングセレモニー

4. 全体を通して

本年度は、やっさ祭り実行委員会から、各委員会で**ゴミの分別**、紙コップの使用など、「ゴミゼロ」へ向けて、多大なご協力をいただくことができ、「踊り参加者」「屋台村」の方にも、事前説明会で「エコレンジャー委員会」の取り組みを聞いていただき、エコレンジャーとしても、「ボランティア説明会」も開催でき、全体的に、環境意識の向上、効果があがったのではないかと思います。委員会としても、2年目であるため、準備、ボランティアへの指導等、スムーズに進められた。

目標である「ゴミゼロ」に向けてはまだまだではあるが、多くの人の認識が変化しつつあるのを感じる。高校の「学校祭」でも取り組みをしないと、話を聞きに来られたり、企業（道原運送）からも、リサイクルに向けて、協力をしないと、声をかけていただいたり、他市（竹原市）のNPO法人にも、竹箸の無償提供のご協力をいただけたりと、多くの繋がり、広がりが出てきている。

5. これからの展望

分別回収をしていると、「ゴミ持ち帰り」の意識が薄れるという、矛盾が出てきてしまうが、今後も、分別によるリサイクルを推進していくとともに、持ち帰りの呼びかけの工夫も、していきたい。また、ゴミの発生自体を減らすため、「マイはし」、「水筒」または「マイカップ」の持参、「レンタル容器」の利用を、エコレンジャー委員会にとどまらず、本部、スタッフ、三原市内業者、「踊り」参加者、屋台村業者、見学者、と広がっていくような企画を実施したい。

やっさ祭りだけでなく、いろいろな祭り、イベントなどでも、同じように、「ゴミゼロク
リーン」を目指していただけるようなマニュアルが作りたい。

7. ボランティアアンケート結果

ボランティアとして参加して下さった方にアンケートをお願いし、32 人の方から回答を
いただきました。

(1) この「清掃ボランティア」は、何で知られましたか？

- ・ 図書館の広告
- ・ 学校へのチラシ
- ・ 学校の生徒会 16
- ・ 学校の先生
- ・ 学校からのお知らせ 5
- ・ 校長 2
- ・ スタッフから誘われた 2
- ・ 友達 2

(2) 応募の動機をお聞かせください

- ・ やっさ祭りを盛り上げたかった
- Ⓐ! やっさ祭りに何か貢献したかった
- Ⓑ! 地域に貢献したかった 2
- Ⓒ! 何か役に立ちたいと思ったから
- Ⓓ! 多くの人に祭りを心から楽しんでほしいから
- Ⓔ! 三原の町(地域)を少しでもきれいにしたいと思ったから 2
- Ⓕ! 三原の伝統行事で町をよごしたくなかったから
- Ⓖ! ボランティアをしてみたかったから 3(清掃活動もしてみたかった)
- Ⓗ! 夏休み中のボランティアは、できる限り出ると決めていたから
- Ⓙ! やってみたいなと思ったから 3
- Ⓚ! 体を動かしたい
- Ⓛ! ボランティアは、よくやっているの、何でもやってみたかった
- Ⓜ! 地球を守りたかったから
- Ⓝ! 生徒会を地域に貢献する活動に参加させたかったから
- Ⓞ! 生徒会活動 7(みんなで地域をきれいにしようと決めたから)
- Ⓟ! 生徒会で参加すると聞いて、自分もしようと思ったから
- Ⓠ! 友達に参加していたから
- Ⓡ! ひまだったから

(3) 感想

- Ⓐ! みなさんのゴミのリサイクルなどの意識がとても高く、自分がどれだけわかってな
かったのか思い知らされた
- Ⓑ! 自分を含め分別に対する意識が低いので、これをきっかけに、家庭での分別が徹底され
たら良いと思う
- Ⓒ! 参加して、ゴミを出さないようにしたいと思った
- Ⓓ! ゴミ拾いや分別などやってみて、祭りのために、こんなに大勢の人達が頑張っているこ
とを知り、感動しました
- Ⓔ! スタッフの方々が本当に真剣にボランティアに取り組んでいたの、自分も

頑張ろうと思いました。

- ㊥!みんなとても、真剣で、やりがいがありました
- ㊥!暑くて、歩きっぱなしだったけれども、知らない人から「がんばってね」「ありがとう」と言われて「きれいにしよう!!」という気がでて、人と自分の為がんばれました。
- ㊥!とても、疲れたけど、町をきれいにするのに協力できてよかった
- ㊥!ゴミは、よく見るとたくさんあり大変でした。終わった後、気持ちよかったです
- ㊥!多くのゴミを集めたので地域が少きれいになったように感じた
- ㊥!疲れたが、ゴミが少なくなり、少し満足感がある
- ㊥!午前中はけっこうヒマだったけど夕方からすごく忙しくて大変だった。

エコレンジャーがいないと街中ゴミだらけになると思う(やっさ祭りの後)

- ㊥!大変だったけど、(たくさん歩いてつかれた)やってよかったです 2
- ㊥!大変だったけど、やりがいのある仕事でした。よかったです。(充実していました)3
- ㊥!はじめは、ちょっとつらかったけど、あとから、楽しくなった。
- ㊥!いい経験ができたと思う
- ㊥!楽しかった 6(おもしろかったのでまた参加したい)
- ㊥!役に立ててよかった 2
- ㊥!とにかく暑かった～ 2 ・ 暑かったけど、みんな優しかった
- ㊥!いい運動
- ㊥!エコレンジャーっていい仕事ですね
- ㊥!いろいろな人と知り合い、きれいになって、とても、ためになった

(4) 気づいた点 (5) 今後へ向けての提案 ※ 各部門別の報告に記載

(6) 来年は、 参加したい・・・20人 参加する・・・2人
参加できない・・・9人(受験8名)不明1名

【理由】 また人と己のために勉強したいから

来年もゴミが多そうだから。でも、受験勉強が、、、。

みんなが喜んでくれたから

楽しくできたので 4 少し楽しかった

8. メディア、その他での紹介

- ㊥! 広島県環境保全委員東部築研修会で、エコレンジャーの事例発表(3月)
- ㊥! 中国新聞(4/15)『福山ばら祭り ごみ減量化 「三原やっさ」手本に分別徹底』
- ㊥! 朝日新聞(5/8 備後版)『分別通じ環境考える 出さない工夫も必要』
- ㊥! 中国新聞(6/23) ゴミへらし隊募集
- ㊥! さんあいジャーナル(6/24) ボランティア募集
- ㊥! 三原TV (7/6 収録)
- ㊥! 中国新聞(7/24 ほぼのぼのうきしろだより) エコレンジャーPR、ボランティア募集
- ㊥! RCC ラジオ(7/25 放送)
- ㊥! RCC 福山 (7/29 収録)
- ㊥! 三原市広報7月号(エコレンジャー募集)

8月号(エコレンジャー表紙カラー写真、エコレンジャーPR)

㊦!読売新聞(8/3) ゴミへらし隊エコレンジャー募集

㊦! やっさもっさ

9. 参考資料

★竹箸の提供 NPO法人「ネットワーク竹原」
<http://www.i-love-takehara.jp/newspaper/2004/10/puresu1009.htm>

★リユース溶液の提供 道原運送
<http://www.michihara.co.jp/kankyoku1.htm>

★リユース容器のレンタル NPO法人「スペースふう」
<http://www.ne.jp/asahi/fuu/up>

★マイはし登録 マイ箸大作戦
<http://www.tentsuku.com/>

★ごみゼロナビゲーション A SEED JAPAN
<http://www.gomizero.org/index.html>

★ゼロ・ウェイスト キャンペーン グリーンピース
<http://www.greenpeace.or.jp/campaign/toxics/zerowaste/?zw>

★つくろう!ごみゼロ社会、変えよう!容器包装リサイクル法
. 容器包装リサイクル法の改正を求める全国ネットワ
ーク
<http://www.citizens-i.org/gomi0/>

★脱・使い捨て社会への道すじを探る FoE Japan
<http://www.foejapan.org/lifestyle/gomi/index.html>

★広島県の環境情報サイト ECOひろしま
<http://www.pref.hiroshima.jp/eco/index.html>

★祭りのごみダイエット 広島県環境保健協会
http://www.kanhokyo.or.jp/2_tiiki/2070_gomi_diet.html

★上勝町ごみゼロ宣言 徳島県上勝町
http://www.kamikatsu.jp/kankyo/zero_sengen.htm

Special thanks to 環境ネットワーク三原
<http://sakura.bb-west.ne.jp/spr/muginoko/top.htm>

ネットワーク『地球村』みはら
<http://www.geocities.jp/netmihara/>
(エコレンジャーHP作成、エコレンジャー衣装レンタル、マイはし提供 他)